

ビワ

【 *Eriobotrya japonica* 】

科名 バラ科

属名 ビワ属

薬効・用途

葉（枇杷葉 ビワヨウ）を清涼、健胃、鎮咳、去痰、利尿薬とする。民間で利尿、止渴、健胃薬あるいは清涼剤として煎汁を飲用する。浴湯料として皮膚を滑らかにし、汗疹（あせも）に効くといわれる。辛夷清肺湯などの漢方方剤に配合される。



・花期：11～12月

備考

常緑中高木。中国中南部原産。本州（西部）～九州に自生する。暖地の各地で栽培される。枇杷は実の形が楽器の琵琶の形に似ているので名づけられた。インドの古い経典では枇杷の木は「大薬王樹」、枇杷の葉は「無憂扇」と説かれている。両性花。